

# 中町中学校だより 丘山通信



多可町立中町中学校  
令和6年7月2日（火）発行  
<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>  
電話 32-0009 文責：校長 神崎

## 多可郡総合体育大会を終えて・・・

学校長 神崎進吾



6月15日（土）、陸上競技部が西播中学陸上競技記録会（兼多可郡総体）に、吹奏楽部が北播中学校吹奏楽祭に出場しました。また、22日（土）には、ソフトボール部、バレーボール部、男女ソフトテニス部が多可郡総合体育大会に出場しました。（野球部、サッカー部は、町内3中学校の合同チームのため、また、剣道部は本校にしか部がないため、郡総体はありません。）いずれもこの3年間の部活動の集大成ともいえる大会です。また、最近

では、学校外のクラブチームに所属する生徒も増えてきており、それぞれ目標とする大会があり、その予選が進んでいます。

中学生が輝くことのできる瞬間はたくさんありますが、この総体は、私が大好きな瞬間の一つです。どの競技もこれまで3年間で培い磨いた技を競い合い、真剣勝負でプレーする。教室とはまた違った一回り大きく逞しい姿を見ることができるところです。

この総体でも、どの部もしっかりと他校に食らいつき、見事な勝負を繰り広げてくれました。中でも3年生の頑張りには、目を見張るものがありました。どんなに劣勢に追い込まれようと、大きな声を出して仲間を鼓舞し、最後まで全力で必死にプレーするその姿に、思わず胸が熱くなりました。

どの部の頑張りも素晴らしいものでしたが、私が特に印象に残ったのがソフトボール部の試合でした。ソフトボール部は、加美中と連合チームを組み、ライバルである八千代中学校と対戦しました。これまで八千代中には一度も勝ったことがなく、苦戦が予想されていました。試合開始早々1点を奪われ、序盤3点のリードを許します。苦しい場面が続きましたが、諦めることなくみんなで声をかけ合い食らいつきました。そして、4回裏には相手のミスを逃さず同点に追いつき、さらに1点を加え、見事、逆転に成功。さらに5回裏には、勢いに乗って一気に5点を奪い、さらに6回裏にはダメ押しの1点を加え、終わってみれば、10対3で6回コールド勝ちをおさめました。みんなで声をかけ合い、最後まで戦い抜いた姿は立派でした。感極まって涙する選手も多く、見ているものの心を動かす試合でした。

もちろん、この郡総体は勝負の世界です。思うような結果が出た人も、そうでない人もいますが、部活動で一番大切なことは、この3年間の取組を通して何を学んだかということです。

「何でも本気でやるから面白い。何でも本気でやるから学びがある」

集会の際に、私が生徒たちによく話をする言葉です。勉強でも、部活動でも、学校行事でも、目の前にあることから逃げずに、本気で取り組むこと。中学生にとってとても大切なことです。何でも自分の思うようにできることなど、そう多くはありません。きっと苦手なこともあるでしょう。失敗もあるでしょう。一生懸命にやってもうまくいかないこともあるでしょう。そこから逃げずに正面から向き合う。あきらめずに工夫して取り組む。努力を積み重ねる。そんな中で自分なりに少しずつ伸びていきます。だからこそ喜びがあり、学びがあります。仲間と一緒に、一つのことを成し遂げたり創り上げたりする経験は、人として大きく成長させてくれます。

きっと本気で部活動やクラブチームの活動に取り組んだ人は、たくさんのことを学んだことと思います。その想いや学びを胸に、次は東播総体等の次の大会や受験勉強など、新たな目標に向けて、上手に気持ちを切り替えて臨んでほしいと思います。

## 《特集》いじめについて考える

6月の全校集会で、プレゼンテーションをもとに「いじめについて考える」をテーマに、共通理解を図りました。まず、最初に次の4つの事例について、それぞれ「いじめにあたるかどうか」を考えてもらいました。

### 【事例1】

AさんとBくんは、普段から仲が良い。じゃれ合って、遊んでいるうちにエスカレートし、思わず、AくんはBくんを蹴ってしまった。

### 【事例2】

CさんとDさんは、小学校の時にケンカをして以来、仲が悪くなってしまった。お互いに悪口を言い合っており、いつしかそれが相手の耳に入ってしまった、関係がさらに悪化した。

### 【事例3】

Eくんは、いじめられキャラ。いつもいじめられて喜んでいる。今日もみんなでクラスを盛り上げようと、Eくんをいじった。Eくんは、笑いがとれて嬉しそうだった。

### 【事例4】

Fさんは、いつも給食当番や係りの仕事、そうじをしてくれない。最初はみんな我慢していたが、とうとうみんなが腹を立てて、だんだんFさんと口をきかなくなってしまった。

生徒に挙手してもらい確認したところ、【事例1】【事例2】【事例4】については、これはいじめであると挙手した生徒が約3分の1程度。また、【事例3】については、5分の1程度でした。

平成26年度に制定された「いじめ防止対策推進法」によれば、現在、いじめの定義は以下のとおりです。

「いじめ」を「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校(※)に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義

※起こった場所は学校の内外を問わず、例えば通学路や自宅、インターネット上で起きたものも含まれる。

法律なので少し文言が難しいのですが、平たく言えば、次の3つの条件に当てはまる行為を『いじめ』と定義しています。

- ①被害者・加害者が知り合い同士
- ②心理的または物理的な影響を与える行為があった
- ③被害を受けた子どもが心身の苦痛を感じている

現在、定義されている「いじめ」は、保護者の皆様がイメージされている一般的ないじめの定義より、より幅広いものと考えて良いでしょう。これは、いじめの被害者を守る観点から、被害者側の立場に立って定義の見直しが図られたものです。例えば、次のようなケースは典型的ないじめと言えます。

①肉体的苦痛を与えるいじめ(例)

- ・殴る／蹴る／たたく・物をぶつける・閉じ込める・髪の毛を引っ張る・胸ぐらをつかむ
- ・水や泥をかける・プロレスごっこを強要する・鉛筆やコンパスを突き刺す など

②精神的苦痛を与えるいじめ(例)

- ・無視をする・物を隠す・からかう・嫌がるあだ名で呼ぶ・パシリをさせる
- ・誹謗中傷など悪質なメールやメッセージを送る・相手の嫌がる言葉で攻撃する
- ・仲間外れにする

これらは、世間一般でいうところの「ハラスメント(いやがらせ)～犯罪行為」に該当します。法治国家である我が国においては、これらは決して許される行為ではありません。犯罪行為はもちろんのこと、社会全体としてあらゆるハラスメントを根絶しようとする機運が高まっています。

これら①・②は、いじめであり、してはいけない行為であることは、生徒たちもよく知っています。しかし、時としてこうしたことを深く考えずについて行ってしまう事例が時々あります。その場合、頭の中で理解している「いじめ」行為と実際に自分がしている行為が結びついていないケースが大半です。

では、どのような場合にこのようないじめが起こるのでしょうか。文部科学省の調査によると、いじめをしてしまった児童生徒にその理由を尋ねたところ、調査以来ずっと、以下のような理由が1位、2位にランクインしています。

「なぜ『いじめ』をしてしまったのか?」・・・その理由

・第2位(約41%)は、「遊びやふざけだと思っていたから」。

お互いが友達同士の関係の中、これくらい許されるだろう、遊びの延長だと考えているものの中には、いじめに繋がるケースが多々あります。また、自分の行為を悪いことと認識しつつも、その罪悪感や認識を和らげるための言い訳としてこのような言い方をしている場合もあります。

【事例1】ケースは小学生のころには、よく見受けられるケースですが、「他人を蹴る」という行為は、決して許されことではありません。傷害罪にあたるケースもあります。

【事例3】の場合も、「いじられることを本人も楽しんでいる」「遊びや悪ふざけだ」と周囲が思っていたとしても、必ずしも、本当にいじられている本人が楽しんでいるとは限りません。思いのほか、人間関係の中でそのキャラを嫌々引き受けているケースや、内心傷ついているケースも見受けられます。また、「いじられキャラ」を演じている生徒の中には、そのキャラを外せないで、少々のことを言われても我慢している生徒もいます。大切なポイントは、本人が本当はどう感じているかです。このケースも、内心では「そこまで言わなくても」と思いつつ、言い出せずに我慢し続けたケースで、実際に登校できなくなってしまう事例もあります。テレビ等でこのような「いじられ芸」を得意とする芸人さんは、「自分がいじられることを芸として笑いをとっているプロ」です。それを自分たちも許されるものとして、安易にマネする傾向もあります。「いじり」と「いじめ」は紙一重です。「いじる」という行為の危うさを心してほしいと思います。

そして、第1位(約62%)は、「相手に悪いところがあるから」。

これは、相手に間違っていることや悪い点があり、何度、注意や話をしても聞き入れられない場合によく起こります。善意や正義感から始まっているだけに、自分自身の言動の危うさに気がつかないケースが、時々見受けられます。

【事例4】のケースの場合、どんなに「相手に悪いところがある」「何回言っても改めようとする気配がない」としても、それがどんな理由があれ、その行為(【事例4】場合は「無視する」)は絶対に許されることではありません。

ん。自分の言動が善意や正義感にもとづくものであっても、相手を正そうとするその方法が正しいかどうか、いじめに繋がるものではないか、敏感になる必要があります。もちろん、良い集団を創っていくためにも、不正を許さず、みんなで高め合うことは大切です。【事例4】のケースも、「たまりかねた G さんが、厳しい口調で F さんを注意した。」「たまりかねたみんなは、係りの仕事について学級で話し合いの機会をつくった。」等の方法が望ましいでしょう。

難しいのが、【事例3】のケースです。C さんも D さんも、法的にいうと、お互いにいじめの被害者であり、加害者でもあります。しかしながら、どうしても「被害者感情」のみが強くなり、「やられたら、やり返せ」とばかりに、自分がとっている加害の行動を正当化しがちです。被害者としての自分の怒りの感情が強ければ強いほど、自分のとっている行動の加害的な要素に気が付かないケースが多くなります。たしかに自分が他者から不当の扱いを受けた場合、それに屈しないこと、負けないことは大切です。しかし、だからと言って、その方法が暴言や暴力であることは、どんな理由があれ、決して許されることではありません。それは、暴言や暴力の連鎖、いじめの連鎖を生み、いつまでたっても解決しないどころか、関係悪化の一步をたどるだけです。法治国家である我が国において、その手法は間違っており、決して許されることではないということを忘れないでください。相手方と言論できちんとしたコミュニケーションをとり、自己主張し、解決に向けて建設的な話をすべきです。その結果、どうしても解決できない場合は、法的な手段に則り、第三者に解決を委ねることもあります（これは、教育の範疇ではありませんが・・・）。

また、生徒たちには、万が一、「自分がいじめられているのではないか」と感じたり、心がしんどくなった場合は、必ず信頼できる誰か（周囲の大人、友達）に話をするように伝えていきます。

お家の人、友達、先生、誰でも良い、しんどい時に「しんどいねん」と言えることが何より大切です。学校では、「こころの健康教育」等を通じて、しんどい時に「しんどいねん」と伝える力を育めるよう努めます。また、教職員はもちろんのこと、「全員面談」「学校生活相談シート」「生活ノート」等、それらを受け止める様々な環境を整えています。困ったと感じたときは、絶対に一人で抱え込まないようにしてほしいと伝えています。

加えて、「しんどい気持ち」を友達からうち明けられた場合、必ず次の二つを心がけるようにも話をしています。それは、①決して否定せず、真剣に話を聴く、②信頼できる大人に相談する、の二つです。

何より大切なことは、自分や友達の言動が、いじめに繋がっていることはないか、敏感になること。まさに、これこそが人権感覚だと思うのです。自分の心と体を大切に。それと同じように友達の心と体を大切にできる。そんなみんなが居心地の良い中町中学校をみんなでつくっていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、お子様のことで気になることがございましたら、遠慮なく学校にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 6月の教育活動

### <トライやる・ウィーク>

6月3日（月）から始まった本年度の「トライやる・ウィーク」。生徒たちにとって一生心に残るかけがえのない体験となりました。普段の学校生活とは全く異なる環境の中で、さまざまな人との交流を通じて人間関係を築くこと、自己責任の自覚や自律・自制の心を養うこと、働くことの大変さを知ること等の貴重な経験を積むことができたと思います。この期間に教えていただいたこと、ほめていただいたこと、注意されたこと、すべてが生徒たちにとって大きな学びとなりました。

今年度は、33の事業所で、71名の生徒を受け入れていただきました。受け入れていただいた事業所の皆様には、ご多用な中、貴重な時間を割いていただき、計画から活動に至るまで、細やかなお心遣いと温かいご指導をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、保護者の皆様におかれましては、お弁当の準備や送迎等、ご協力ありがとうございました。期間中ご家庭でも、お子様と様々な形でこの「トライやる・ウィーク」について、お話になられたことと



思います。「一週間という短い期間で、生徒たちが目に見えて変わる」ということはありませんが、教室では学べない「何か」を感じ取り、今後の自分の進路や生き方に活かしてくれるであろうと期待しています。



## < 3年生、実力テスト受検！ >

6月5日(火)、3年生が1日をかけて実力テストに臨みました。これまでの学習の成果を測り、今後の進路選択に活かすことにもなるこのテスト。修学旅行や部活動、生徒会活動等、忙しい合間を縫って、このテストに向けてコツコツと学習に取り組んできた生徒も大勢います。緊張感のある中、一問でも正解しようと時間ギリギリまで必死に鉛筆を走らせていました。自分の進路を切り拓くために、これから節目、節目で、テストに臨む必要があります。1日1日を大切に、逃げることなく日々努力を積み上げ、受験という壁に立ち向かってほしいと思います。応援しています。頑張れ、3年生！





## <こころの健康教育～コーピングの宝箱～>

6月には、全学年で、こころの健康教育の授業で「コーピングの宝箱」と題して、ストレスマネジメントについて学びました。指導者はスクールカウンセラーの山本先生と養護教諭の川上先生です。世の中には色々なストレスの原因となるストレスラーがたくさん存在し、避けて通ることはできません。ストレスラーは自分を成長させるきっかけにもなりますが、上手につきわないと、イライラしたり、元気が無くなったり、不眠になったりと、心身の不調に繋がりがねません。今回の授業では、ストレスコーピング(対処法)をみんなで100個以上集めようということで、班に分かれて、自分のストレスコーピングをどんどん出し合いました。友達のコーピングからアイデアをもらい互いに刺激しあってたくさんの意見が出され、班ごとに渡された用紙が、あっという間にコーピングが書かれた付箋でいっぱいになりました。その後、良いコーピングのポイントとして、①自分を傷つけない、②他人を傷つけない、③物を壊さない、④新たな問題がおこらない、⑤どこでも簡単にできる、の5点が示されました。友達の対処法を参考に、効果的なストレスコーピングを集めて、自分なりの「コーピングの宝箱」を作っていきます。



## <3年生、進路説明会>

6月11日(火)、5・6校時に3年生の進路説明会を開催しました。進路説明会では、進路選択のポイントや現在の入試制度について、また、オープンハイスクールや今後のスケジュールについて、担当から説明がありました。生徒たちも、真剣な表情で一つひとつ確認していました。自分にとって一番良い進路選択とは何かについて考える良い機会となったことと思います。ご家庭でもお子様と進路について話し合われるきっかけになればと思います。次年度の入試要綱が発表され次第、改めて変更点等の情報をお知らせいたします。入試制度も複雑化しており、一度聞いただけではわかりにくい点もあるかと思います。質問等がございましたら、各担任や学年担当に遠慮なくお尋ねください。



## <2年生、「赤ちゃん先生」体験>

6月12日(水)、3・4校時に、2年生対象に「赤ちゃん先生」の授業を行いました。「赤ちゃん先生」は、生徒たちが、赤ちゃんとふれあうことにより、様々な学びや癒し・感動をともにするプログラムです。赤ちゃんとそのママが小中学校、高校大学、高齢者施設を訪れ、赤ちゃんの持つチカラを間近に体験してもらう活動です。今日のテーマは「自分はどれだけ大きくなったかな」。生徒たちは7つのグループに分かれて、グループごとに赤ちゃんとその母親とのふれあいを楽しみました。赤ちゃんの1日の生活の話、ふれあい・大きさを比べ、手遊び歌、質問タイム、感想シェア等のプログラムに、素敵な笑顔とともに身を乗り出して興味津々に各プログラムに取り組んでいる姿が印象的でした。赤ちゃんと自分を重ね合わせ、自分の成長を感じるとともに、周囲の人々の愛情やお世話があったからこそ今の自分があることに気づくことが、今回のプログラムのねらいです。この年度内にあと2回、同じ赤ちゃん先生とのプログラムが予定されています。お楽しみに!



## <3年生、部活動壮行会>

6月13日(木)、6校時に部活動壮行会が開催されました。これは、全校生で3年生にエールを送ることで、3年生が最後の部活動の大会を学校代表としての自覚を持ち、全力を出し切ろうという思いを高めるきっかけと



なるようにと企画したものです。各部のキャプテンや主将、部長からは「これまで部活動にかけてきた想いを胸に全力で競技し、悔いの残らないよう全力を尽くしたい」と、力強いメッセージが届けられました。在校生からのエールに続き、各部の保護者から募った応援メッセージ動画が流されました。3年間の子どもの頑張りをずっと側でみてきたご家族からのメッセージは、いずれも心に響くものばかりでした。お世話になった皆さんへの「感謝」の気持ちを胸に、総体に挑むことを心に誓う壮行会となりました。

## <野菜だぞ〜畑>

本校の中庭には、コスモス学級、ヒマワリ学級の生徒が野菜を育てている畑があります。その名も「野菜だぞ〜畑」。自立活動の時間を活用して、夏野菜を育てています。育てているのは、ラディッシュ、甘小丸スイカ、小松菜、栗カボチャ、ナス、ズッキーニ、オクラ、万願寺とうがらし、赤ピーマン、ジャンボピーマン、こどもピーマン、黄トマト、赤トマト、ミニトマト、キュウリ等、なんとその数、15種類！ここ数日、とても良い天気で、野菜たちもぐんぐん大きくなっています。収穫した野菜で、野菜カレーを作る予定です。生徒たちも早く大きくな〜れ!と、願いをこめてお世話をし、できあがった野菜カレーを食べる日を心待ちにしています。

また、6月19日(水)には、生徒たちが、この「野菜だぞ〜畑」に看板を設置しました。6月に入ってから作り始めたこの看板。木の板に下地の色塗りをし、思い思いのイラストを描き入れ、デザインしました。仕上げは、みんなで一筆一筆、色塗りをし、みんなで見事に看板を仕上げました。4校時は、その看板に木材を使って、足を2本つけました。釘打ちは打つ位置を決めるのがなかなか大変でしたが、位置の決め方を教えてもらい、板を押さえる友達と連携しながら、上手に打つことができました。仕上がった看板は「野菜だぞ〜畑」の入り口に設置されました。看板ができて「野菜だぞ〜畑」も畑らしく、ずいぶん立派になりました。野菜たちも、ぐんぐん大きく育ってくれることでしょう♪



## <凡事徹底強化週間、美化コンクール>

「凡事徹底〜時を守り、場を清め、礼を正す〜」は、本校の教育目標です。「当たり前のことを、ばかにせず、きちんとやりきること」は人生の成功の秘訣であるとも言われます。生徒会では、6月17日(月)〜21日(金)の5日間を、「凡事徹底強化週間」とし、生徒たちは「名札をつけること」、「授業の挨拶をしっかりとすること」、「3分前着席ができること」を強く意識して生活しました。また、同時に美化コンクールにも取り組みました。大切なことは、この取組が一過性に終わらないことです。本校のこの取組をきっかけに、「当たり前のことを、日々きちんとやりきること」を常に意識して生活できるようになってほしいと思います。



## <1学期学期末テスト始まる！>

6月28日(金)から、いよいよ1学期期末テストがはじまりました。1学期には、各教科で複数の単元について学び、その都度、単元テストで定着の度合いを測ってきています。今回は、さらにそれら複数の単元の学力がどれくらい身についているかを再度、測るテストという位置づけになります。1年生は、初めての期末テストへの挑戦です。担任の先生から日々このテストへの取り組みについてお話をいただいております。多くの生徒が計画的に家庭学習を進めてきました。テスト問題と解答用紙が別々になる等、小学校の時とは、テスト形式も変わります。みんな緊張した面持ちで、テストに臨んでいました。また、3年生は、自分自身の進路を控えた大切なテストの一つです。テストに挑む姿勢も違います。凛と張りつめた良い意味での緊張感が伝わってきます。時間ギリギリまで、真剣に鉛筆を走らせていました。





## 表彰の記録

### <第38回北播中学校吹奏楽祭>

6月15日(土)、西脇市オリナス.で、第3回北播中学校吹奏楽祭が開催されました。本校は午前  
の部、6番目の出演でした。演奏曲は「サウンド・オブ・ミュージック・セレクション」。会場は、凛  
とした厳粛な空気に満ちており、いよいよ本番。顧問の狩谷先生の指揮の下、17名の部員が一丸とな  
り、緊張しつつもこれまでやってきたことをしっかりと出し切って演奏しました。他校の演奏を聴くこ  
とのできるまたとない機会であり、今の実力を自覚し、さらに伸びようとする良き機会となりました。

### <令和6年度多可郡総合体育大会の結果>

#### 《陸上競技部》

会場：太子町総合公園陸上競技場

(男子3年100m) 1位: 記録 12.35  
(女子1年100m) 1位: 記録 14.66  
(男子共通4×100mR) 1位: 中町中 記録 48.94

#### 《ソフトボール》

会場：中町中学校

第1試合	中町中・加美中 10-3 八千代中
------	-------------------

優勝：中町中・加美中、2位：八千代中



#### 《男子ソフトテニス》

会場：八千代中学校

第1試合	中町中 0-3 八千代中
第2試合	中町中 1-2 加美中
第3試合	八千代中 2-1 加美中

(団体戦) 優勝：八千代中、2位：加美中

(個人戦)



#### 《バレーボール部》

会場：加美中学校

第1試合	中町中 0-2 加美中
------	-------------

優勝：加美中、2位：中町中



#### 《女子ソフトテニス》

会場：ガルデン八千代

第1試合	中町中 1-2 八千代中
第2試合	中町中 3-0 加美中
第3試合	八千代中 2-1 加美中

(団体戦) 優勝：八千代中、2位：中町中

(個人戦)



## <表彰の記録>

○良い歯のコンクール表彰（西脇市多可郡学校医師会主催）

優秀賞・・・

（3年）

（3年）



## 学校からのお礼とお知らせ

### <オープンスクールのお礼>

6月10日（月）、11日（火）と、オープンスクールを開催しました。これは普段の学校生活や授業の様子を少しでも保護者の方に観ていただこうと開催しているものです。保護者の皆様におかれましては、平日にも関わりませず、早朝よりお越しいただき、ありがとうございました。教室の面積が狭いことや各クラスの人数が多いこともあり、外廊下から授業の様子を見ていただいた方が多かったようです。生徒たちは、日頃と変わらぬ学習態度で、落ち着いて授業に取り組んでいたように思います。今後も、このような機会を設けますので、ぜひ、生徒たちの様子を見ていただければと思います。



### <中ライオンズクラブより、羽無し扇風機をご寄贈いただきました>

6月27日（木）、中ライオンズクラブより、羽無し扇風機をいただきました。これは、昨年度、本校剣道部がその活躍に対して、中ライオンズクラブ賞をいただいております、その副賞ということで、贈られたものです。格技場で大切に使用させていただきます。中ライオンズクラブの皆さん、ありがとうございました。これを機に、さらに精進していきたいと思っております。



### <ハートフルスクール 2024>

多可町では、中学生の夏の人権学習として、ハートフルスクールを夏休みに開催しています。人権の学習は、机に向かっての学習も大切ですが、自ら体験を通じて学ぶことで、さらにその学びが深くなります。夏休みの人権作文を書く際の題材にもなります。せっかくの夏休みです。少しお出かけして素敵な体験をしてみませんか。今年度のプログラムは下記のとおりです。既に配布してあるハートフルスクールのチラシに付いている申込書に必要事項を記入して、教頭先生まで申し込んでください。詳しくは、先日配布されたチラシをご覧ください。チラシがない場合は申し出てください。メ切は7月12日（金）です。



【プログラム】①7月27日（土）・・・社協祭りでボランティア！（活動場所：ベルディホール）

②7月30日（火）・・・同和学习 in 舩松人権歴史館

（活動場所：舩松人権歴史館、あべのハルカス）

③8月20日（火）・・・姫路で平和を考えよう！

（活動場所：姫路市平和資料館、みゆき通り周辺）



## 「丘山通信 6 月号 返信欄」から

たくさんのご意見やご感想をいただき、ありがとうございます。皆様のご意見やご感想の交流の場とし、今後の指導にも活かしていきたいと思いますので、是非、ご返信お願いいたします。

### 【1 年 1 組】

- ・いまいち家庭学習がうまくいっていないなと思っていたら、丘山通信に参考になる事が色々載っていたので、子供と話してみようと思います。
- ・見ました。合同野外活動・わくわくオーケストラどちらも楽しく活動できたようです。初めての期末考査にむけて、「家庭学習の習慣化」について、話し合いもしました。部活もあり大変だと思うけれど、体調に気を付けながら過ごして欲しいです。
- ・先生がクラス便りに日々のことや先生の思いを伝えてくださるので、子どもがどのように学校で過ごしているのかイメージが付きやすいです。ありがとうございます。子どもはやらなきやいけない気持ちとめんどうだなと思う気持ちの間で戦っているようです。あたたかい目で見守っていききたいと思います。
- ・校外学習が、とても楽しかった様で、良い経験ができて良かったなと思いました。
- ・5 月は楽しい行事がたくさんあり、楽しんでいました。6 月末には、初めての期末考査。中間テストがなく戸惑いもありましたが、丘山通信を読ませて頂き、意図が分かり安心しました。順位にとらわれず、しっかり勉強に取り組んでくれる事を願います。
- ・自主学習の大切さがよくわかりました。クラブとの両立で、体を壊さないように、食事や睡眠などにも、十分気を付け過ごしてほしいと思います。元気に毎日登校してくれる事が、何より嬉しいです。

### 【1 年 2 組】

- ・単元テストや小テストが続き、勉強する機会が増えました。それを見て、弟も「僕も明日漢字の小テストやった。勉強しよ」と、いい影響を受けています。
- ・授業をしっかり聞くようになったら分らなかったところが分かった！！と話してくれました。分からないままにせず、一つ一つ理解を積み重ねて行って欲しいです。
- ・特集の内容が、とてもよかったです。知りたいと思っていたことが書いてあり、よく分かりました。ありがとうございます。
- ・勉強の記録をアプリで管理するのも今時っぽくてやってみようかなと思いました。
- ・合同野外活動、わくわくオーケストラととても楽しかったようで帰ってきてから話をたくさんしてくれました。
- ・学校生活にも慣れてきて、毎日様子を話してくれますが、丘山通信でも学校生活の事が分かり、助かります。これからも楽しみにしています。
- ・中学校生活にも慣れてきて毎日元気に行っているので安心してしています。これから期末テストに向けがんばってほしいです。
- ・家庭学習の大切さや定期テストへの取り組みについて詳しく教えていただき感謝します。ゆっくりしているので、がんばってほしいです。
- ・わくわくオーケストラがすごく楽しかったようで、帰ってきてから話がとまらなかったです。本格的なオーケストラを楽しむ機会はめったにないので、とても良い経験になったと思います。

### 【2 年 1 組】

- ・トライやるウィークお疲れ様！！ この 5 日間で学んだこと感じたことは 1 つでも将来の役に立つと思います。期末テストに総体と忙しい日が続きますが体調を整えて今学期を乗り越えてほしいです。
- ・トライやるウィークが終わり、ようやく 5 日間の緊張から解放された様です。初めての事ばかりで、

大変貴重な経験をさせて頂きました。守秘義務を守り、あまり詳しくは話してくれませんでしたでしたが、事業所の方に大切な時間を割いて頂き、熱心にご指導下さった事は、感じとる事が出来ました。この事業に関わって下さった全ての方々、本当にありがとうございました。

- ・トライやるウィークが終わりました。始まる前は不安で心配していましたが、事業所の方々や先生たちのお陰で無事やり切ることが出来ました。色々な体験をさせて頂き充実した一週間を過ごせ、もう一週間行きたいと言っていました。この経験を生かせる様、頑張っって欲しいと思います。
- ・トライやるウィーク、本当によく頑張りました。貴重な機会を与えて下さり、ありがとうございました。今月は郡総体がありますね。天気が心配ですが…。全力を出しきって、勝っても負けても納得できる戦い方ができると良いですね。
- ・楽しみにしていたトライやるウィークが終わりました。毎日どんなに活動したか、詳しく報告してくれました。楽しく、有意義な経験を出来た事と思います。お世話になった事業所の方々、ありがとうございました！

## 【2年2組】

- ・トライやるウィークは毎日初めての経験をさせてもらえたようです。毎日こちらから聞かなくても今日したことを話してくれて楽しかったことがよく分かりました。仕事が楽しいことも大変なことも良く分かったようです。お世話になりありがとうございました。
- ・家庭学習の大切さについて、くわしくありがとうございます。これまでは特に時間帯を決めず取り組んでいましたが、2年生になってから〇時～〇時までは勉強するという事に決めて取り組んでいます。やってみると本人も時間が決まっていた方が生活にメリハリが付いて良いと感じているようです。習慣化できるようにがんばって欲しいです。
- ・トライやるウィークでは、挨拶、ルール、大人への関わり方、社会に出るための大事なことを学べたのではないのでしょうか？そして将来に活かせる活動になったようです。毎日、楽しく行けてよかったです。
- ・楽しみにしていたトライやるウィークが無事終わりました。毎日楽しく過ごせたようです。普段では経験できないこともたくさんでき、充実した5日間だったように思えます。事業所の方にも良くしてもらえ感謝です。
- ・トライやるウィーク、慣れない活動でしたが、仕事の一端を学ぶ機会になったと思います。将来を考える一助になればと思います。
- ・「家庭学習の習慣化」とても参考になりました。家庭学習の習慣化できているようで、できていないと思います。子どもと家庭学習についてまた話したいと思います。学習評価と定期テストについて、とても詳しく書かれていて、分かりやすかったです。トライやるウィーク、たくさんの経験をさせていただき、充実していたようです。ありがとうございました。
- ・トライやるウィークが無事に終わり、とても楽しかった様で、良い経験ができたのではないかと思います。次は総体、テストと行事が待っているので、体調を整えて挑んでほしいです。
- ・いつもお世話になっています。トライやるウィーク、現場で、色々な事を教えてもらい、楽しかったみたいで、話をたくさんしてくれました。いい経験をさせてもらえてよかったです。ありがとうございました。

## 【3年1組】

- ・修学旅行では楽しい思い出がたくさん出来たようです。「ディズニーランドが楽しかった！」と教えてくれました。初めての新幹線、そして初めての東京を友達と体験出来たことはきっといつまでも心に残ることと思います。
- ・修学旅行、とっても楽しかったようです。たくさんおみやげをありがとう。楽しい話も聞かせてくれました。この学年のみんなであと100回くらい修学旅行に行きたいと言っていました。よい友達がたくさんいてうらやましいです。

- ・修学旅行3日間お世話になりありがとうございました。笑顔で帰って来てくれてほっとしました。土産話もたくさん聞かせてくれました。3年生の一大イベントも終わり気持ちを受験に切り替えてがんばってほしいです。
- ・修学旅行から無事に戻ってきて、楽しかった話をたくさん聞けました。ありがとうございました。
- ・3日間の修学旅行から大きなトラブルもなく無事に帰ってきました。引率の先生方にはお世話になりありがとうございます。とても楽しかったようで、お土産話をたくさん聞かせてくれました。

#### 【3年2組】

- ・もうすぐ総体ですね。悔いのないように頑張ってください。
- ・修学旅行、とても楽しかったようで良かったです。最近、何となく「こういう高校に進みたい」という目標が出来たようで勉強もその方向に向かって取り組みだせているように感じます。途中、まだまだ悩んだり変更したりするかもですが、今の気持ちを大切に頑張ってもらいたいです。
- ・修学旅行、全員無事に帰ってきてくれて安心しました。大人になっても忘れることのないたくさんの思い出ができたことと思います。HPで様子を随時更新していただき、ありがとうございました。
- ・楽しみにしていた修学旅行も終え、だいぶストレス発散できたと思います。これからは進路説明会、やオープンハイスクールもあるので自分が行きたい高校に向けて勉強頑張ってください。
- ・読みました。家庭学習とても大切ですね。楽しかった修学旅行も終わり、期末考査へ向けて、準備を始められたらと思います。生徒さん達の沢山の写真など活動報告もありがとうございました。